

(1) スtock効果の最大化のための取組

- Stock効果を一層高めるための取組(投資面の工夫、施設の運用面の工夫、Stock効果早期発現の工夫)の収集・分析

(2) Stock効果の見える化のための取組

- Stock効果のカテゴリー化及びその効果把握のための各種統計、ビッグデータ等の幅広いデータソースの活用方策
- 経済分析手法の適切な選択と活用
- ユーザー等が効果を実感できるような情報共有のあり方 等

(3) 「最大化・見える化」をマネジメントサイクルに組み込む方策

- 事業完了後における地域の社会経済状況の変化の継続的把握・公表
- 事後に把握した効果を同種の新規事業の効果分析にあたって活用する仕組み 等